

横浜市感染症発生動向調査報告(令和8年7月)

《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症が幅広い年齢層で患者が多く報告されています。
- 手足口病の報告数が急増し、警報レベルとなっています。

◇ 全数把握の対象 <2026年6月22日～2026年7月19日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	22件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
A型肝炎	2件	ジアルジア症	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	7件
レジオネラ症	6件	水痘(入院例に限る)	3件
アメーバ赤痢	1件	梅毒	20件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3件	百日咳	9件
急性弛緩性麻痺	1件		

- 腸管出血性大腸菌感染症**:10 歳代～70 歳代で、O 血清群は O157 が 12 件、O26 が 2 件、Og156 が 3 件、O103、O128 がそれぞれ 1 件、不明が 3 件です。無症状病原体保有者は 11 件です。感染経路等は経口感染と推定される報告が 10 件、不明が 12 件です。
- E 型肝炎**:50 歳代、感染経路は経口感染と推定されます。
- A 型肝炎**:30 歳代と 60 歳代の 2 件で、感染経路等は性的接触と推定される報告が 1 件、不明が 1 件です。
- デング熱**:10歳未満、病型はデング熱です。感染経路等は蚊からの感染と推定されます。
- レジオネラ症**:50 歳代～80 歳代で、病型はすべて肺炎型で 6 件です。感染経路等は水系感染と推定される報告が 2 件、不明が 4 件です。
- アメーバ赤痢**:40 歳代、感染経路等は不明です。
- カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:60 歳代～70 歳代で、感染経路等はその他の報告が 2 件、不明が 1 件です。
- 急性弛緩性麻痺**:10 歳未満、病原体は不明です。感染経路等は不明、ポリオ含有ワクチン接種歴は 4 回です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:50 歳代～80 歳代で、血清型は 7 件とも A 群です。感染経路等は創傷感染が 5 件、不明が 2 件です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)**:30 歳代、病型は AIDS で感染経路等は性的接触(同性間)です。
- ジアルジア症**:70 歳代、感染経路等は不明です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症**:10 歳未満が 2 件(ワクチン接種歴 3 回)と 60～90 歳代が 5 件(ワクチン接種歴 2 回 1 件、無 2 件、不明 2 件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 2 件、その他と推定される報告が 1 件、不明が 4 件です。
- 水痘(入院例に限る)**:20 歳代～80 歳代で、3 件とも臨床診断例です。感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 2 件、不明が 1 件です。
- 梅毒**:10 歳代～80 歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期 7 件、早期顕症梅毒Ⅱ期 8 件、晩期顕症梅毒1件、無症状病原体保有者が 4 件です。感染経路等は性的接触による感染と推定される報告が 16 件(異性間 10 件、同性間 3 件、詳細不明 3 件)、不明の報告が 4 件です。
- 百日咳**:10 歳代～60 歳代(ワクチン接種歴 4 回 1 件、3 回 2 件、無 1 件、不明 5 件)で、感染経路等は家族内感染が 1 件、不明の報告が 8 件です。

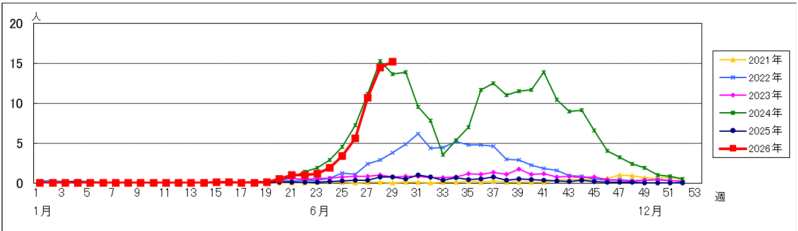
報告週対応表	
2026年第26週	6月22日～6月28日
第27週	6月29日～7月 5日
第28週	7月 6日～7月12日
第29週	7月13日～7月19日

◇ 定点把握の対象

※ 2025 年第 14 週(3 月 31 日～4 月 6 日)以降、小児科定点は 94→51、
内科定点は 59→39 医療機関に変更されました。

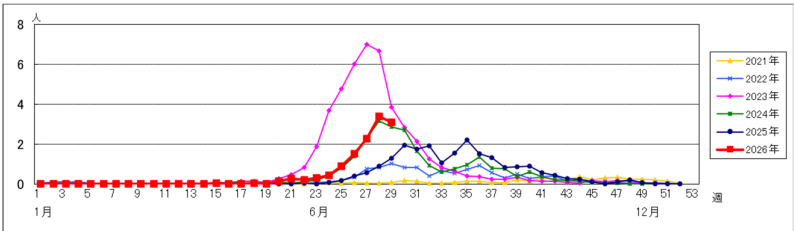
1 手足口病

2025 年は報告数が 1.00 を超えることは
ありませんでした。2026 年は第26 週(6月
22日～6月28日)に 5.56 となり、2024 年以
来の流行警報レベルとなっています。第
29 週は 15.18 です。



2 ヘルパンギーナ

2026 年第 24 週(6月8日～6月14日)に増
加し、第 29 週は 3.10 で、未就学児の患者
の報告が 9 割を占めています



3 性感染症(2026 年 6 月)

性器クラミジア感染症	男性:43件	女性:25件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:16件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性:24件	女性: 6件	淋菌感染症	男性:14件	女性: 3件

4 基幹定点週報

	第26週	第27週	第28週	第29週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.25	0.00
無菌性髄膜炎	0.25	0.25	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.50	0.25	0.25
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.25	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(2026年6月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
-------------------	-----	----------------	----

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5 か所、ARI 定点:4 か所、眼科定点:1 か所、基幹(病院)定点:4 か所の計 14 か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI 定点と ARI 定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2026 年第 26 週～第 29 週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点 93 件、小児科定点 3 件、基幹定点 1 件、定点外医療機関からは 1 件でした。

8 月 4 日現在、表に示した各種ウイルスの総数 90 件(うち分離総数 6 件)が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2026 年第 26 週～第 29 週)

診断名	検出・分離ウイルス	総数	うち分離数
ARI	ライノウイルス	30	
	パラインフルエンザウイルス 1型	16	
	パラインフルエンザウイルス 3型	5	
	ヒトメタニューモウイルス	10	
	コクサッキーウイルス A6型	9	
	コクサッキーウイルス B4型	1	1
	アデノウイルス 1型	2	2
	アデノウイルス 2型	2	
	アデノウイルス 3型	3	1
	SARS コロナウイルス 2型(新型コロナウイルス)	3	
	パレコウイルス 1型	3	1
	インフルエンザウイルス Apdm09	1	1
	RS ウイルス	1	
手足口病	コクサッキーウイルス A6型	3	
急性脳症	コクサッキーウイルス A6型	1	
合 計		90	6

【 検査研究課 微生物(ウイルス医動物)担当 】

〈細菌検査〉

2026年第26週～第29週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症22件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症3件、侵襲性肺炎球菌感染症1件、MSSA菌血症1件、菌血症1件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症3件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」からA群溶血性レンサ球菌咽頭炎5件、「ARI定点」から5件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2026 年第 26 週～第 29 週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等	
保健所	腸管出血性大腸菌感染症		22	O157:H7 VT2	(4)
				O157:H7 VT1VT2	(3)
				O157:H- VT1VT2	(3)
				Og156:Hg25 VT1	(3)
				O103:H2 VT1	(2)
				O128:H2 VT1VT2	(2)
				O26:H11 VT1	(1)
				O8:H9 VT2	(1)
				Og88:Hg25 VT1VT2	(1)
				Og130:H11 VT1VT2	(1)
				O146:H21 VT2	(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		7	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 A群溶血性レンサ球菌 T14/49型	(6) (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		3	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	(3)
	侵襲性肺炎球菌感染症		1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 19A型	(1)
	MSSA菌血症		1	<i>Staphylococcus aureus</i>	(1)
	菌血症		1	<i>Methylobacterium</i> 属の近縁菌	(1)
分離同定		項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所		レジオネラ症	3	喀痰	レジオネラ属菌 培養 陰性 (2) <i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)
小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	咽頭ぬぐい液	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	A群溶血性レンサ球菌 T4型 A群溶血性レンサ球菌 T6型 A群溶血性レンサ球菌 TB3264型	(3) (1) (1)
ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
ARI定点	咽頭ぬぐい液	ARI	5	A群溶血性レンサ球菌 培養陰性 肺炎マイコプラズマ遺伝子 陰性 百日咳菌遺伝子 陰性 百日咳菌 培養陰性	(4) (5) (5) (5)

【 検査研究課 微生物(細菌)担当 】